

上南摩町地内林野火災報告

警防救急課警防係 ☎(63)1146



上南摩町地内で大規模林野火災が発生しました

令和8年2月21日、上南摩町地内の栗沢トンネル付近で林野火災が発生し、3月1日に鎮火するまで、約17㍻を焼損する大規模なものとなりました。

本市消防本部および消防団の出勤に加え、群馬県、埼玉県から防災ヘリによる空中からの散水、22日以降には災害派遣を要請した自衛隊ヘリによる懸命な消火活動が行われました。完全鎮火に至るまで9日間を費やす災害となりましたが、人的被害・住家被害はありませんでした。

消防吏員・消防団員のほか、栃木県、埼玉県および群馬県の防災航空センター、陸上自衛隊第12旅団、水資源機構、鹿沼警察署、市森林組合等の関係機関の皆さま、地元自治会をはじめ地域住民の皆さまの支援に、改めて感謝いたします。



▲現場指揮本部の様子

多数の消防団員が活躍

消防総務課消防団係 ☎(63)1153

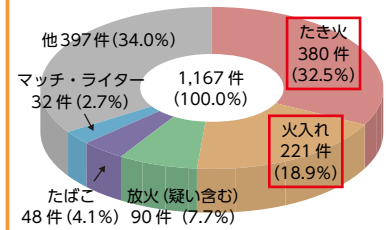
今回の林野火災に対し、消防団員も昼夜を問わず出動しました。急な斜面を物ともせず、仲間と連携し、延焼防止や警戒活動を行いました。

消防団は、地域の皆さんに支えられています。地域を守る消防団への入団をお待ちしています。



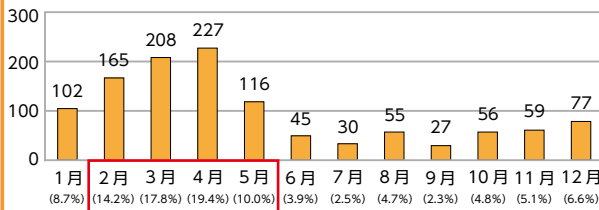
▲あなたの一歩がまちを守る力に

林野火災出火件数 (令和2年～6年の月平均)



※小数点以下を四捨五入したものであり、合計が合わないことがある。

林野火災の月別出火件数 (令和2年～6年の月平均)



林野火災はどのくらい起きている？

全国ではおおむね、年間1,200件の林野火災が発生しています。時期は2月から5月にかけて、特に多く発生する傾向にあります。

主な発生原因は「たき火」「火入れ」などの人為的要因がほとんどです。

2月から5月に林野火災が多いのはなぜ？

この時季の気候として空気が乾燥したり、強風が吹いたりすることが挙げられます。林野火災では、人命や建物、地域資源などの被害が出るほか、木々が焼けることで降雨時の保水力が低下し、土砂災害などが起きる可能性があります。林野火災の予防には、一人ひとりの口頃からの対策が重要になります。

林野火災注意報・林野火災警報による火の制限を再確認

今年1月から、林野火災の危険性が高まると発令されます。

林野火災注意報

↓火の使用の制限(努力義務)

林野火災警報

↓火の使用の制限(罰則あり)・30万円以下の罰金または拘留

大切な命と財産、そして美しい鹿沼の自然を守るため、皆さまのご協力をお願いいたします。

クマに注意

防災気象情報
林野火災報告

窓口受付時間
市税等納付

都市計画
高齢者みまもり

エアコン/民生費
映像通報/かえる組

市民のひろば

フラッシュ

健康
みんなの健康

お知らせ

フォトコン
新卒者祝い金